

## モルドバを実例として見たチュチェ思想の生命力について

モルドバ・チュチェ思想研究青年同盟

金日成主席の誕生日である太陽節を迎えるモルドバの反帝革命闘士の胸は激しく高鳴っています。われわれにとって金日成主席の生誕 110 周年はわれわれを闘争へと呼んでいます。

1912 年 4 月 15 日、遠くにあっても同時にわれわれの心の近くにある万景台で響いた偉大な変革の信号はモルドバにも届きました。決して一気に届いたわけではありません。それが届くまでモルドバは極めて厳しい試練を経なければならず、大きなミスと問題点を発露させました。その信号はわが国に届いて、現代のもっとも切実な、そしてもっとも深奥なチュチェ思想でわれわれを武装させました。

わたしは受難に満ちたわが祖国モルドバの実例を挙げてチュチェ思想の生命力について討論しようと思います。

自由と進歩の敵は今日、われわれにとってもっとも危険な戦略と戦術を使っています。彼らは今、もっとも正当な不敗のチュチェ思想が朝鮮にのみ適用される思想であり、他国ではそれが生命力をもたないため、他国の人民はチュチェ思想を学ぼうとしないということを証明しようとする術策を弄しています。言い換えれば、世界の帝国主義者は自由を愛するすべての人民が偉大な金日成主席が創始した普遍的なチュチェ思想を受け入れる場合、それが自分たちに脅威になるということをよく知っています。しかし、わがモルドバ人民が「新たな世界秩序」の主人である彼らに無条件降参すると思いますか？われわれにこの侵略を防げる力がないでしょうか？

わがモルドバの誇らしい歴史がわれわれを助けるでしょう。その歴史は遠い昔から始まっています。ここで特別に強調したいことは、チュチェ思想が近代のもっとも切迫した思想ではありますが、同時にわれわれに久しい以前の出来事をも分析しうる立派な手段を与え、数世紀が過ぎた時点で過去の出来事を正しく分析し、現代の反帝革命家たちが自らの闘争に活用しうる正しい結論を下すように助けるということです。

わたしは 2009 年に 15 世紀のモルドバの有名な為政者スチェパン 3 世(「大帝」)を形象した立派なモルドバ絨毯を金日成主席への贈り物として国際親善展覧館に寄贈しました。彼はモルドバ歴史上もっとも偉大な為政者の一人でした。しかし、彼の統治は自国の繁栄を目指し、モルドバ勤労人民の幸福を目指す上で

何の大きな成果をもたらしませんでした。チュチェ思想の主要原理と理念の見地でスチェパン3世（「大帝」）の政治を分析してみましょう。

1,スチェパン3世がモルドバの人民を天のごとく見なしましたか？

まったくそうではありません。スチェパンは大封建領主であり、モルドバの勤労人民を軽蔑しました。彼はモルドバ貴族の上層を招いて多くの酒宴と遊びごとを催し、モルドバの広範な勤労人民大衆が政権を握るのを快く思いませんでした。今、われわれは数世紀が経った時点で彼が犯した失策と彼がモルドバ人民の創造的力を信じなかったということを悟っています。

2,スチェパン3世が実に自力に依拠する政治を実施しましたか？

絶対にそうではありません。彼のすべての政治はモルドバに力と影響力を行使する各勢力の間で綱渡りをする政治でありました。彼は定期的にポーランド王とマジャール王、トルコのスルタン、クリム汗、ロシアのツァーリに媚びへつらいました。彼の政治は明白に自力ではなく、周辺の外部勢力の力に依拠した政治でした。彼の政治はモルドバ人民の力を信じず、民族的独立を遂げるための闘争で発揮される人民の献身性を信じない政治でありました。

3,スチェパン3世が一心団結を最優先しましたか？

絶対にそうではありません。自国人民の創造的力を信じない政治は絶対にその人民を団結させず、一心団結を実現することができません。彼がすべてを破壊する内戦からモルドバを救った期間は長くありませんでした。彼の没後、すぐモルドバは再び衰退没落と混乱の渦巻きの中に陥りました。まさにこれが実際、スチェパン3世（「大帝」）の政治に下ろされた判決でありました。

私は意図的に（「大帝」）という表現を括弧の中に入れました。それはチュチェ思想の三つの偉大な理念に従わない統治者は真の大帝として呼ばれる道徳的資格がないからです。受難に満ちたわがモルドバの為政者たちは「以民为天」、「一心団結」、「自力更生」というチュチェ思想の三つの偉大な理念を深く肝に銘じ、さらに高く掲げていかなければなりません。

モルドバ・チュチェ思想研究先軍青年同盟のモルドバ反帝革命闘士であるわれわれは、チュチェ思想にもとづいた分析方法がモルドバ勤労者の信頼を得るようにしてくれると確信します。彼らの信頼さえあれば、われわれはチュチェ思想が示した栄えある道に沿って、世界の解放運動の偉大な領袖であり、指導者である金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記が示した道に沿ってわがモルドバの政治を引導していくことができるでしょう。